



15 FEBBRAIO 2008
GIORNATA DEL RISPARMIO ENERGETICO



* * ほのかな明かりの中で過ごすエネルギーを節約する日 * *

M'illumino di Meno 2008

Caterpillarの提言

今回で4回目になるこの試みですが今年も2008年2月15日を実施日としてラジオ番組が放送されている18:00から19:30の間エネルギー資源節約のためにできるかぎり明かりを消し不必要なエネルギーを使用しないで過ごすことを提案します。

- より大きな結果をもたらすために重要なシンボルであるモニュメントや中心的な広場の消灯の実施。
- それに加えて、個人や商店、事務所、レストラン、学校、ジム、いろいろな団体、各人がそれぞれの解釈、方法で実行してほしいと考えます。ショーウィンドーの照明、コンピューター、電気設備の停止、夕食をキャンドルの明かりでとるなど....。

* いつから始まったのか？

2005年2月16日、地球温暖化防止会議で議決した京都議定書が発効された日をCaterpillarは最初のエネルギー資源節約の日としました。それから毎年この呼びかけをし、年ごとに賛同者は増加しています。

この運動を根気強く、伝達し取り組みを国際的な段階に押し広めることが重要と考えます。

* キャンペーンについて

1ヶ月前にあたる1月15日から2月15日(京都議定書発効前日)Caterpillarではキャンペーンを実施。番組放送内では専門的見地から科学者の声、一般リスナーからのエネルギー消費の無駄を減少できるヒント、効果的な具体例をとりあげます。専門家の助言、リスナーからのおばあちゃんの知恵袋ならぬ身近で実行している魅力ある節約術などを求めます。

* キャンペーンの目的

世界的な気候変動をくいとめる。目に見える形での行動を起こすことにより環境への配慮を喚起してゆく。

シンボリックなものを消灯させることによってメディアの注目を得る。エネルギー利用の無駄を減少させるため個人の貢献が重要であること、自身の参加によりこの運動が普及していくことへの意義を認識してもらい参加を促していく。

* どのように参加すればよいのか？

放送を聞くこと、または番組について語るにより限りある資源を最良の方法で利用することを考え、エネルギー資源の無駄使い減少させていく可能性を探る。

番組webサイトwww.caterpillar.rai.itよりキャンペーンに仲間入りでき、また運動の普及に役立つためのものをダウンロードすることも可能(チラシ、ポスター、掲示板、節約の掟などetc..)

* 過去参加例

- イタリア共和国大統領、上院下院両議長がそれぞれクイリナーレ宮殿の正面、Madama e di Montecitorioの消灯を実施。
- 地方自治体、ローマ(コロッセオ、パンテオン、トレヴィの泉)ミラノ(ドゥオモ、マリーノ館、スカーラ広場)トリノ(モーレ、スペルガ聖堂)ヴェローナ(アリーナ)フィレンツェ(ヴェッキオ宮)ボローニャ(マッジョーレ広場)シエナ(カンポ広場)ヴェネツィア(サンマルコ広場)ナポリ(Il Maschio Angioino)カターニャ(ドゥオモ広場)パレルモ(プレトリア広場)アグリジェント(神殿の谷)イルミネーションの消灯。
- 無数のレストランがディナー時のキャンドル灯火、メニューもエネルギー消費の少なくて済むものに変更。市議会、組合、スポーツ団体、学校内においても取り組みを実施。商店ではショーウィンドーの照明を落とす、水道、電力節約キットの無料配布の実施。

* 達成された成果

- 過去実施されたgiornata di risparmioは国内の電力調査会社が算出したところ2006年度はウンブリア州に相当する消費量が節約され、2007年度には500万の電球が消灯したに相当する節約になった。
- 全国、地方紙の出版物やラジオニュースなどあらゆるメディアにこの企画の必要性を訴えかけ、とりあげられた。

* Caterpillarとは

RAI RADIO 2で11年前から放送されているラジオ番組(放送時間は毎日18:00から19:30)100万人以上のリスナーが聴取している。常に自分たちの社会への逆説的立場、反対意見に着目しつつ現代性のあるテーマを取りあげている。